

1人1台端末の活用による実践事例（準ずる課程・持ち帰り時の授業保障）

学校名	早島支援学校	実践者名	西村 純一
実践場面 (教科)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立活動 ・ 社会 		
単元・題材名	「長期休み中に Classroom を使って気になるニュース発信とストレッチ報告をしよう」		
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ① 長期休み中、iPad で NHK のニュースの中で気になるニュースを調べ、Classroom で発信することができる。 ② 長期休み中、映像を見ながらストレッチを行い、Classroom でしたことを報告することができる。 		
対象の児童生徒の実態	肢体不自由部 中学部3年生 <ul style="list-style-type: none"> ① 特定のゲームやキャラクターには強い関心があるが、世の中の出来事には関心がもちにくい。 ② 学校では教師の指示を素直に聞いてストレッチを行うことができるが、自分から継続して行うことは難しい。 		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

本生徒と教科担当教員で Classroom を作成した。毎日の宿題で NHK ニュースから気になるニュースを添付データで貼りつけ、感想を発信するように伝えた。教員はコメントで返信した。世の中に対して関心が薄かった本生徒だが、気になるニュースの発信を続けて少しずつ発信記事の内容が広がってきている感じがする。6月9日から始めて、40発信している。（8月17日現在）

【発信内容の例】 猛暑日、大雨・台風、コロナの感染者数、ウクライナとロシア関連、サル痘、桜島の噴火、地震、津波、大谷選手、海や川の危険生物、小学生の火遊び、電力ひっ迫、物価上昇等。



まずは100回発信を目標にしている。文書の最初に(32)というように発信回数を入れ、感想を発信している。文末には、前日にストレッチができたかどうかを報告している。

ストレッチは、腰痛・拘縮予防や関節の可動域維持のためリハビリの先生から教えていただいたものであり、1人1台端末で本人のストレッチの様子を録画し、分かり

やすくなるよう本人と動画編集した。毎日10分間見て、一人でストレッチに取り組んでいる。前年度は、家で1人で取り組み続けるのは難しかったが、ストレッチ映像と Google Classroom 報告で継続して家で一人でも取り組むことができている。

活用のポイント・改善策等

・ 1学期最初からキーボードを取り付け、PC の替わりとして毎日使ってきた。普段の授業中もネット検索、文書作成 (Google ドキュメントや Word) で日常的に使用してきた。途中から家への持ち帰りもはじめた。夏休み前には、気になるニュースとストレッチの取り組みを始めていたことも継続しているポイントかもしれない。また、Google カレンダーで毎日の時間割を入力し、スケジュール管理も行っている。特別な場面での使用ではなく、高等部・卒業後の本生徒の支援ツールとして普段から活用できるように、これからも実践していきたい。